

第56期 事業報告書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月 31日

公益財団法人 鎌倉能舞台
神奈川県鎌倉市長谷三丁目5番13号

第 56 期（自令和 6 年 4 月 1 日至令和 7 年 3 月 31 日）事業報告

[I] 当財団の概要

当財団は、世界無形文化遺産である能楽を中心に我我國古來の伝統芸能を広く普及・振興を図ることを目的に次の事業を展開しています。

『公益目的事業』として、能楽を中心とした伝統芸能の公開及び普及を目的とした「自主公演」や次世代への能楽の伝承と育成及び技術の向上を目的とする「受託公演」、伝統芸能の調査・研究並びに資料の収集と提供といった「普及振興事業」を行っております。また、『収益事業』を公益目的事業の支えとするため「舞台運営事業」があります。

なお、本事業で実施している内容全ては、世界遺産である能楽を中心とする伝統芸能の振興と普及を図ることを目的としていることから、『公益目的事業』の事業区分を一つの事業としております。

[II] 本年度の事業の状況

本年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が一段と緩和され、国内外の人流が回復する中、訪日外国人観光客の増加や、能楽を含む伝統文化への関心の高まりがみられました。特に、インバウンド需要の回復は、鎌倉を訪れる観光客の増加にも寄与し、当財団の公演活動にも好影響をもたらしました。

一報、国際的には、米国の新政権による通商政策の転換や、地政学的リスクの高まりが世界経済に不確実性をもたらし、為替相場や原材料価格の変動が続いています。国内においても、物価上昇やエネルギーコストの高騰が消費者心理に影響を与えるなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下において、当財団は公益目的事業として掲げる自主公演を中心に、国や、神奈川県、その他公的団体からの補助金、出演者のご協力、そして熱心にご来場いただき観客の皆様のご支援を賜りながら事業を継続してまいりました。特に、能楽の普及と次世代への継承を目的とした教育プログラムやワークショップの開催にも注力し、多くの方々に能楽の魅力を伝えることができました。

今後も、伝統文化である能楽を未来の社会へ正しく伝えていくため、財団の存続と発展に努め、引き続き努力を重ねてまいります。

1. 公益目的事業

(1) 自主公演（能を知る会）

① 県民のための能を知る会（鎌倉公演）

能楽を定期的に開催し、伝統芸能「能」の普及を図るとともに、古都鎌倉文化の向上に寄与することを目的として、鎌倉能舞台にて合計 10 公演を行い、およそ 1,294 人の観客動員を得ました。

日時	解説	狂言	能	人数
◆於）鎌倉能舞台 5 日間 10 公演				
5月 3日	祝	源氏物語と能	樋の酒・瘦松	須磨源氏・玉鬘 226 人
8月 1日	木	能の神と鬼	福の神・鬼の継子	小鍛治・雷電 250 人
10月 20日	日	源氏物語と能	栗焼・瘞痢	浮舟・野宮 265 人
11月 29日	金	源氏物語と能	柿山伏・文山賊	夕顔・源氏供養 281 人
1月 18日	土	能の源氏と平家	蝸牛・薩摩守	吉野静・忠度 272 人

② 能を知る会（東京公演）

上演に際し、出演者や作り物などが大がかりになる演目に戦挑すること、また、神奈川県以外の観客層に当財団の存在を知っていただくため、国立能楽堂（独立行政法人日本芸術文化振興会）および観世流の活動拠点となる観世能楽堂（一般財団法人観世文庫）にて合計 3 回の公演を行い、観客はおよそ 1,100 人でした。

日時	解説	狂言	能	人数
◆於）国立能楽堂（渋谷区千駄ヶ谷） 1 日間 1 公演				
6月 16日	日	立花のお話し	簾屑	半蔀 立花供養 356 人
◆於）観世能楽堂（中央区銀座） 2 日間 2 公演				
9月 14日	土	源氏物語と能	因幡堂	葵上 414 人
3月 13日	木	閑伽汲む女	伊文字	三輪 白式神神楽 330 人

なお、鎌倉・横浜公演は神奈川県から文化芸術活動団体事業補助金 50 万円を、東京公演を含む「能を知る会」全体について、芸術文化振興基金「舞台芸術等総合支援事業」補助金 4,497 千円を受けました。

(2) 受託公演

学校公演なども開催が戻り、次の通り受託・補助金を得て児童・生徒等、学生向けに延べ 32 回（鑑賞延人数およそ 6,949 人）の公演を行いました。また、一般向け公演を次の通り延べ 6 回（鑑賞延人数およそ 1,860 人）開催しました。

① _a 文化芸術による子供育成推進事業「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」
当財団が申請した文化庁の文化芸術による子供育成推進事業「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」が採択されたため、各県や市の教育委員会の後援をうけながら、北海道・青森県 岩手県 宮城県 秋田県の小・中学校 8 校にて学校巡回公演を実施、1,974 名が鑑賞しました。（文化庁補助金 24,403,264 円）

本公演実施日		実施校名	参加人数
9月30日	月曜日	八戸市立高館小学校	172人
10月1日	火曜日	弘前大学教育学部附属小学校	497人
10月2日	水曜日	青森市立浪打中学校	240人
10月3日	木曜日	五所川原市立市浦中学校	36人
10月4日	金曜日	札幌市立富丘小学校	501人
12月17日	火曜日	仙台市立加茂小学校	275人
12月18日	水曜日	塩竈市立第二小学校	152人
12月19日	木曜日	仙台市立幸町小学校	101人

① _b 神奈川県「青少年のための能楽鑑賞体験教室」

神奈川県の共催負担金を得て、神奈川県下の小・中・高校を対象とする体験ワークショップと能楽鑑賞教室の公演を 6 回、およそ 3,088 人に行いました。
（神奈川県助成金 80 万円）

実施日	学校名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
10/15(火)	鎌倉女子学院	学校体育館	能・狂言鑑賞	155人
11/6(火)	大船高校	鎌倉芸術館	能・狂言鑑賞	780人
12/11(水)	北鎌倉女子学園	鎌倉能舞台	能・狂言鑑賞	130人
1/15(木)	川崎市小学校合同開催	カルッツ川崎	狂言鑑賞	2,000人
2/8(土)	神奈川県主催	厚木市市民会館	能楽ワークショップ [°]	6人
3/2(土)	神奈川県主催	神奈川県立青少年センター	能楽ワークショップ [°]	17人

① _c 個別各学校主催の能狂言鑑賞会受託事業

例年、学校における授業の一環としての学生能楽鑑賞会を受託し、各校の講堂や能楽堂で公演を行っております。今年度は、個別学校主催の学生公演は 5 校、およそ 1,126 人が鑑賞しました。（おいらせ町狂言教室助成金 100 万円）

実施日	学校名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
6/5	五戸町・おいらせ町小中	五戸・おいらせ町	狂言鑑賞・体験	200人
11/29	ICU高等学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞・体験	253人
11/11	杉戸西小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞・体験	51人
11/28	玉川大学	観世能楽堂	能・狂言鑑賞	372人
3/ 13	慶應義塾湘南藤沢高等部	観世能楽堂	能・狂言鑑賞	250人

① _d 鎌倉市「鎌倉こども能」

鎌倉市の受託を得て、鎌倉市内在住の小学 4 年生から中学生に能楽のお稽古をして、発表会にて能を披露する事業「鎌倉こども能」は、令和 6 年度は 20 人の子供が参加、7 月から 3 月まで 20 回のお稽古を実施。3 月 16 日に一般客も入れて発表会を鎌倉能舞台で行い、200 人の観客の前で能を披露しました。（鎌倉市助成金 1,936,000 円）

発表会	3 月 16 日(日)	子供たち 20 人と能楽師による能「土蜘蛛」
-----	-------------	------------------------

① _e 鎌倉市「鎌倉能狂言 鑑賞・体験」

鎌倉市からの受託により、鎌倉市立小学校の児童が鎌倉能舞台を訪れ、狂言の鑑賞と体験を行いました。全 16 校 12 回の公演を開催、およそ 1,341 人が鑑賞しました。
(鎌倉市助成金 2,378,200 円)

実施日	学校名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
10/30	富士塚小・玉縄小	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	33人 / 65人
11/19	第二小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	77人
11/21AM・PM	今泉小・第一小	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	88人 / 114人
11/26	御成小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	110人

12/3AM・PM	七里ガ浜小・関谷小 腰越小	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	49人/66人/ 75人
12/10	大船小・深沢小	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	90人/139人
12/19AM・PM	稻村ヶ崎小・植木小 西鎌倉小	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	39人/52人 123人
1/30	山崎小	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	98人
2/13	小坂小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	131人

② 一般向け公演

イベントや市民の情操教育の一環として、各種団体から能狂言の公演を受託しております。

当年度の受託状況は以下の通りです。（マグカル能：神奈川県助成金 1,000,000 円）

実施日	公演名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
8/15	相模薪能	寒川神社	能2番・狂言1番	800人
8/17	マグカル能	鎌倉能舞台	狂言1番、能1番	80人
9/3	AFFJリハーサル能	鎌倉能舞台	能1番	40人
10/15	AFFJ能	鎌倉能舞台	能1番	70人
11/16	善福寺能	相州西之坊善福寺	仕舞2番、能1番	100人
1/26	調布新春能	調布グリーンホール	狂言1番、能1番	800人

(3) 調査・研究

伝統芸能の調査と研究及び資料の収集のため、未記録演目の録音録画・写真撮影、必要に応じて能楽関連の調査・研究とこれに基づく作り物・小道具等の制作を行なっています。これらの資料は要望に応じて一般に公開しています。

また、「能を知る会」での字幕の作成など、「字幕 e 能」（わかりやすい字幕解説付き能楽鑑賞システム）の対象演目の拡張に取り組みました。

また、公演に足を運んで頂けないお客様に能楽を知っていただくために YouTube チャンネルを開設しており、能の公演ダイジェスト版の他、能についてのレクチャー等、多くの動画を無料配信しております。

2. 収益事業

(1) 舞台運営事業

① 貸会場

舞台設備としての鎌倉能舞台は、能舞台としてはやや小ぶりながらも、舞台と客席が近く、椅子に座って楽に鑑賞できる座敷舞台です。客席も150席と少なく、舞台と観客の一体感を醸し出せるような独自の設計を取り入れ、能狂言に限らず、各種の芸能上演・鑑賞・お稽古・おさらい会・発表会の場として、また講演会や展示会場としてご利用いただいています。

② グッズ制作・販売

当財団オリジナルのクリアファイル、タオル、カレンダーなどの制作・販売を行っています。

③ 和カフェ「能舞台茶寮 神楽」

令和4年度より能舞台・能面、能装束を見ながらお茶の飲める和カフェを営業しています。名物は“女面”と“般若面”を模した「能面ラテ」で、るるぶ等の観光ガイドなどにも取り上げられています。（神奈川県ビジネスモデル転換補助金の採択による）

3. 贊助会員／寄付金

当財団の第一目的の「能楽の振興及び普及」を支えてくれる支援者を広く募集するため、賛助会員制度を設けています。今年度は個人会員、法人会員に187件のご加入と、3件のご寄付をいただきました。

これからも「どなたにも馴染める能」の振興と普及に努め、社会への一層の貢献を目指す所存です。今後とも皆様のご支援をお願いいたします。

[III] 役員に関する事項

(1) 評議員（計8名）

氏 名	就任時期	現 職 名	備 考
本田 博保	H23/11/1	観世流能楽師師範	R4/6/22 再任
廣澤 幹久	H23/11/1	弁護士	同 上
岩崎 久人	H23/11/1	能面師	同 上
湯澤 大地	H23/11/1	(株)千里代表取締役	同 上
小林 利弥	H23/11/1	(有)小林タイヤ商会代表取締役	同 上
中森健之介	H27/6/17	観世流能楽師準職分	同 上
林 雅己	R4/6/22	(有)リンクコンサルティング代表取締役	R4/6/22 新任
久保田宏二	R4/6/22	観世流能楽師師範	同 上

(2) 理事（計10名）

役 名	氏 名	就任時期	現 職 名	備 考
代表理事	石渡 徳一	H22/ 5/24	前鎌倉市長(株)萬屋本店代表取締役	R6/6/18 再任
業務理事	中森 貴太	H 3/ 5/21	観世流能楽師準職分	同 上
業務理事	藤川 譲治	H20/ 5/24	(有)鉢の木 代表取締役	同 上
理 事	近藤 浩通	S63/ 5/21	広瀬川美術館館長	同 上
理 事	坂倉 徹	H 9/ 5/24	(株)サカクラ代表取締役	同 上
理 事	若林 隆壽	H14/ 5/21	宗教法人乗蓮寺（東京大仏）住職	同 上
理 事	井手 太一	H18/ 5/24	(株)湘南ニッケンプロンニング代表取締役	同 上
理 事	浅尾慶一郎	H22/ 5/24	参議院議員	同 上
理 事	大崎 哲郎	H26/ 6/18	グリンハイマー(株)代表取締役会長	同 上
理 事	永田磨梨奈	R 5/ 6/23	神奈川県会議員	R6/6/23 新任

(3) 監事（計2名）

役 名	氏 名	就任時期	現 職 名	備 考
監 事	露木 朗	H24/5/29	司法書士	R6/6/18 再任
監 事	矢島 茂行	H24/5/29	元神奈川県職員	R6/6/18 新任

[IV] 役員会等に関する事項

(1) 評議員会

開催日	議事	結果
R6/6/18	1. 第55期(2023年4月～2024年3月)公益財団法人鎌倉能舞台事業報告の件	全会一致による承認
	2. 第55期(2023年4月～2024年3月)公益財団法人鎌倉能舞台貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件	
	3. 理事選任の件 監事選任の件	

(2) 理事会

開催日	議事	結果
R6/6/18	1. 第55期(2023年4月～2024年3月)公益財団法人鎌倉能舞台事業報告および決算について	全会一致による承認
	2. 理事選任の件 監事選任の件	
	3. 定時評議員会招集の件	
	4. 代表理事及び業務理事の職務の執行状況報告について	
	5. 装束料、出演料について	
R7/3/19	1. 令和7年度事業計画および予算案について	全会一致による承認
	2. 資金調達及び設備投資の見込みについて	
	3. 装束料・出演料について	
	4. 代表理事及び業務理事2名の職務の執行状況報告について。	

以上